

JFW JAPAN CREATION 2024 実施報告書

一般社団法人 富山県織協会

2024.1.8

開催概要

■名 称／JFW JAPAN CREATION 2024

■会 期／2023年10月31日(火) 10:00～18:00
11月 1日(水) 10:00～18:00

■会 場／東京国際フォーラム ホールE-1(B2F)

■主 催／一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構

■後援／経済産業省、外務省、知的財産戦略本部
日本貿易振興会、中小企業基盤整備機構、東京都
日本ファッション協会、日本アパレル・ファッション産業協会
ファッション人材育成機構、日本百貨店協会、
日本繊維輸出組合、日本繊維輸入組合、日本ジーンズ協議会



出展実績

■出展者数

国内企業 209社
海外企業 8社

■入場者数

約 11,000人

出展概要

■名 称／TOYAMA TEXTILE & FASHION 2024

■会 場／JAPAN CREATION 2024会場内
ブース:J43 (間口12m×奥行4m／48㎡)

■主 催／一般社団法人 富山県繊維協会

■後 援／富山県、高岡市、小矢部市、南砺市、砺波市、射水市

■出展者

◇企業展示

(株)今井機業場、エフアイニット(株)、川田ニット(株)、
ケーシーアイ・ワープニット(株)、(株)ジェイコム、
(株)スズニット、西川産業(株)、(株)ミヤモリ、
(株)ランブール

◇特別展示

(株)ゴールドウィン



事業概要

■概要

富山県の繊維産業は、中小零細企業でかつ織物、編物、染色整理、縫製と分業型が多く、受託製造や下請けで自主販売力が弱く経営面での安定さを欠いている。世の中ではコロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中、景気は緩やかに回復してきたが、企業ではエネルギー価格の高止まりや円安による原材料費の高騰など未だに厳しい状況が続いている。

その中で富山の繊維企業が合同出展し、とやまの繊維の魅力、技術をPRすることで知名度向上と産地企業の経営の安定化、競争力強化を目指す。

また、展示会は服飾専門学校学生の来場も多く、リクルート活動にもつなげる。

■展示内容

◇繊維協会

繊維産地とやまの強みを織物、編物、横編、縫製のカテゴリーに分けて、プロモーションビデオやサンプル、特徴をパネルにし、お客様にわかりやすく展示した。

また、スマートフォンやアンケート用紙による来場者アンケートを実施し、とやまの繊維に対する関心度を調査した。

◇出展企業

会員企業9社が参加し、自社の技術を生かした特徴ある商品を展示、紹介した。ブースデザインは全体を統一し、開放感のあるデザインでお客様が入りやすい設計とした。また、壁面に自社の強みを伝えるサンプルをディスプレイし、お客様によりわかりやすく伝えるような展示を行った。

また、クリエイターに参画いただき、コンセプトからフラヤー、プロモーションビデオキャッチコピー、ブースデザインまで一貫した伝え方をした。

◇特別展示

ゴールドウインは、ラグビー日本代表ユニホームを展示し、ユニホーム開発までのプロセスや商品の特長を展示パネルや動画で紹介した。

また、ユニホーム開発のヒントとなった富山県小矢部市の津沢夜高あんどんのジャージあんどんも展示した。

展示デザイン

■展示ブースデザイン



※ブースデザインと各社紹介テキスト

■プロモーションビデオ

プロモーションビデオ URL https://youtu.be/1kBn_5p3ikl

ホームページデザイン

■繊維協会ホームページ仕様



※ホームページに展示会案内、プロモーションビデオを掲載



※繊維協会ホームページで展示会出展を告知した。
また、プロモーションビデオを掲載し、ホーム
ページにアクセスしたユーザーにビジュアルで
伝えることでとやまの繊維をイメージしてもらう

※ホームページをスマートフォン対応にすることで
より多く方にアクセスしてもらう

※スマートフォンに対応した展示会案内

広告宣伝デザイン

■広告宣伝ツール

富山県繊維協会
JFW JAPAN CREATION 2024
2023.10.31[tue]~11.1[wed]
東京国際フォーラム ホールE-1 (No.J-43)

出展のご案内

株式会社今井機業場
Rasul & Rasool, The Tricot
トリコットの、その先へ。

エアアイニット株式会社
エアアイニット
着る人と、着る人が住む世界に夢を。

川田ニッティンググループ
川田ニッティンググループ
office work / active work
着るから、未来のジーンズを伝える。

株式会社ジェイコム
CHICIS ジャップス
個性に寄り添う、新感覚ニット。

株式会社スズニット
ニットアタモサリー
技術を磨き重ねた、無類のニット。

西川産業株式会社
小ロット得意プリント
暮らしに寄り添う生地、自然の彩り。

株式会社ミヤモリ
Narcocila
ハトムギと繊維の暮らしに包まれて。

株式会社ランブル
ナイトキッズ・ゴールド・ジーンズ
着ている間に心地よく、美しく。

特別展示
株式会社ゴールドウイン

富山県繊維協会
〒930-0857 富山県小矢部市津沢一丁目47番地 TEL:0766-61-4637
後援：富山県・富山県商工労働振興会・富山県繊維協会

32nd Edition
JFW
JAPAN
CREATION
2024

2023.10.31(火) Tue. 10:00AM~6:00PM
11.1(水) Wed. 10:00AM~6:00PM

会場 東京国際フォーラム ホールE
Venue Tokyo International Forum Hall E

JFW Japan Fashion Week TOKYO

32nd Edition
JFW JAPAN CREATION 2024

Booth No. J-43

Company 一般社団法人 富山県繊維協会

◀来場事前登録のお願い▶
Pre-registration

ご来場には、必ずWEB事前登録が必要です。
以下のWEB事前登録サイトから、申請者情報を入力し、事前に入場証の準備をお願いします。
本状では入場できません。

All the visitors are requested to register via WEB in advance to enter the show.
Please register your information from the site below to prepare your entry pass.
This flyer is not the invitation for the show.

●WEB事前登録サイト
Pre-registration WEB site



www.japancreation.com/reg/

[主催]
一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構
[協賛会社]
JFWテキスタイル事業 事務局
Tel:03-6805-0791 Fax:03-6805-0793
e-mail: info@japancreation.com

[Organizer]
Japan Fashion Week Organization
[Contact]
JFW Textile Div.
e-mail: enquiry@japancreation.com

www.japancreation.com www.ptjapan.com

※展示会案内フライヤー

※事前登録案内

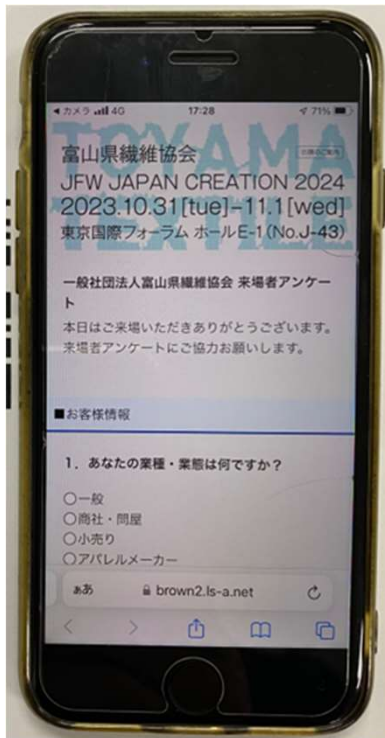
※展示会開催案内としてフライヤーを作成し、各出展企業より顧客先へ配布し誘客を図った。

また、事前登録案内も同封し、お客様に事前登録をしていただいた。

展示会場では、フライヤーを配布し繊維協会ブースへの誘客を促した。

来場者アンケート

■来場者アンケートおよび結果(一部)



※スマートフォンでのアンケート

展示会来場者アンケート

本日はご来場いただきありがとうございます。来場者アンケートにご協力をお願いします。

■お客様情報

① あなたの業種は何ですか？
☐ 一般 ☐ 商社・問屋 ☐ 小売り ☐ アパレルメーカー
☐ 学生 ☐ 官公庁・公的団体 ☐ マスコミ ☐ その他 ()

② ご来場目的は何ですか？
☐ 見学 ☐ 情報収集 ☐ 商談 ☐ その他 ()

■展示について

① とやまの繊維について関心が高まりましたか？
☐ 非常に関心が高まった ☐ やや関心が高まった
☐ あまり関心が高まらなかった ☐ 関心が高まらなかった

② とやまの繊維で興味のあるコンテンツはありましたか？ (複数回答可)
☐ 織物 ☐ 経編 ☐ 横編 ☐ 縫製 ☐ 興味なし ☐ その他 ()

③ 出展企業で興味を持たれた企業はありましたか？ (複数回答可)
☐ 徳島繊維工場 ☐ エファアパレル ☐ 川田ニッティンググループ
☐ 徳島ジェイコム ☐ 徳島スズネット ☐ 西川産業株式会社
☐ 徳島ミヤモリ ☐ 徳島クンズ ☐ 徳島ゴールドウイン

④ 興味を持たれた理由は何ですか？ (複数回答可)
☐ 商品性 ☐ デザイン性 ☐ 機能性 ☐ サステイナブル ☐ 用途展開
☐ その他 ()

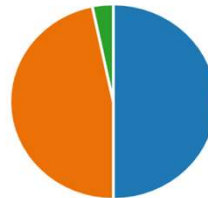
⑤ その他、ご意見をお聞かせください
 ()

アンケート結果は、繊維産地活性化の参考にさせていただきます。他の目的には使用しません。
ご協力ありがとうございました。

※用紙でのアンケート

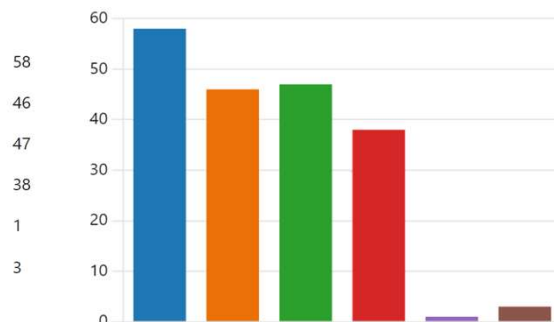
3. とやまの繊維について関心が高まりましたか

● 非常に関心が高まった	61
● やや関心が高まった	57
● あまり関心が高まらなかった	4
● 関心が高まらなかった	0



4. とやまの繊維で興味のあるコンテンツはありましたか

- 織物
- 経編
- 横編
- 縫製
- 興味なし
- その他



※アンケート結果(一部抜粋)

※スマートフォンとアンケート用紙による来場者アンケートを実施し、
とやまの繊維について調査した。
アンケート回答 122件

新聞記事

令和5年11月1日(水) 新聞記事

織研新聞

JFW-JC2024、PTJ2024秋冬

"自社ならではの新たな価値"

JFWジャパン・クリエーション2024 (JFW-JC2024)、プレミアム・テキスタイル・ジャパン (PTJ) 24年秋冬では、独自性の強い繊維化素材の打ち出しが期待された。ピンテージ感やサステイナブル (持続可能性)、機能性といった特徴を捉えた提案に加え、意匠の面白さなどで衣類に新たな価値を吹き込もうとしている。

＝2面参照

バードファブスタジオ
生成AI使いPDFでマッチング

生地マッチングプラットフォーム「PDF」(KIZIARA) (キジアラ) を提案する。現在、生地メーカー約40社、バイヤー約1500アカウントが登録している。近目中に「チャットGPT」を活用した、生地メーカーとバイヤー、エージェントなどを交えてオンライン上で商談できるシステムをローンチする予定。

木曾川染織
草木染めに新色

草木染めの丸縮み・布所がイザナ。従来の丸縮みに加え、ワンピースやブラウスのカーブに合わせた、新たな開発した。ロゴワットとマリーゴールドで染めた新色のグレーを綿・綿・リネンで提案する。ページやブラウン系が多い草木染めで、目新しい色を生かす意図に込められた。

川田ニットグループ
ユニフォームにトリコットの特性を

自社生地ブランド「トリコシェ」で、ユニフォームをターゲットにした。「作業着だけでなく、オフィスウェアにも快適性を求められる」として、適度なストレッチとハリコシのあるトリコットの特性を訴求する。抗菌、撥水感など機能も組み合わせた。フルカラーを使った品番は、グレーで注目を集めた。

サンコ小田
ナチュラルな表情のオーガニザ

得意のオーガニザで、凹凸のあるナチュラルな素材を提案した。経糸に10ミヤ20ミヤのサイロン、緯糸にナチュラル感を演出したポリエステルを組み合わせ、カラーパレットに新たに追加したシャムブルーは、低アイロンと薄地ポリエステルを組み合わせ、ピンテージ加工でしわを付与した。

カゲヤマ
ピンテージ調チェック

先染めチェックに絞ったプリントを施し、独特の色合いを表現した「シェイキーマジック」を提案する。約100%で、ピンテージ調の風合いが人気を集めている。そのほか、兵庫県加古川産のわたを161万円という最高級プリンなど、高品質素材を提案している。

クマムレース
レース×経編みで独自性

手染め作家に依頼した復光色のレースと、ツイード調の経編みを組み合わせた素材を打ち出す。レース機、経編み機の異なる2種類の設備を一つの工場に持ち、独自の初作りが得意だ。50坪からの小ロット生産に対応し、個人の作家向けにも販路を開拓する。実店舗を持たず、SNSを利用した販路が主力だ。

クロスジャパン
産地の強み生かした華やかさ

秋冬向けに人気を集めているのは、尾州の織屋で制作されたカラフルなローピング糸を使用したニット生地。華やかで素材感のある生地を引き合い、試みる。産地や富士市など日本各地の織屋と密着すること、あらゆるニーズに対応する。デパレール企業からの発注に加え、オリジナル生地の企画力も強みだ。

令和5年11月2日(木) 新聞記事

織研新聞

JFW-JC2024、PTJ24年秋冬

アジアからバイヤー目立つ

コトス増
対応に工夫も

10月31日、11月1日に東京国際フォーラムで開かれた繊維総合見本市のJFWジャパン・クリエーション2024 (JFW-JC)、テキスタイルビジネス商談会のプレミアム・テキスタイル・ジャパン (PTJ) 24年秋冬は、バイヤー目立つ。トレンドコーナーを熱心に見て回る来場者も。

イル・ジャバン (PTJ) 24年秋冬、中国、韓国といったアジアからの来場者の多さが目立ち、次のアイデアを探るために数多くのバイヤーが訪れた。国内外に向けた発信の場として一層の役割が期待されている。

「天候にも恵まれた今、月来、月初となった会期については「取引先に来場依頼したが、「行けない」と返事された」などやや厳しい声も聞かれた。

原料やコスト増について対応は「話し込みをして一定の値上げには応じてもらっている」という企業がほとんどだが、「十分ではない」とも、「リネンの原料価格が高騰しており、リネン100%では値段が高すぎるので、綿・リネンを充実」(小原屋繊維)、「シルク系在庫の色数を絞るなど工夫」(長谷川商店)・生産管理部門と営業部門が連携し、生機や編み上げる前の時点で傷などに気付く体制を取り、少しでもロスを出す」(中隆毛織)など様々な工夫も見られた。

顧客の短期小ロット化ニーズも引き続きあり、「経糸共通品番」や、ロットや納期面で使いやす素材の関心が高まった」(カイハコ)という。

決算

加古川市では前年または前年同様に、売上高、営業利益、経常利益、純利益は、いずれも前年比で増減した。また、手帳は営業(売上)収益、営業利益、経常利益、純利益は、いずれも前年比で増減した。

○ジュニア (23年7月期)	
売上高	5,320
営業利益	41
経常利益	193
純利益	190

4,956
¥86
108
105

富山県繊維協会出展企業

■繊維協会展示ブース



富山県繊維協会出展企業

■企業展示ブース



横編： ジェイコム、エフアイニット、スズニット

縫製： ランブール、ミヤモリ

富山県繊維協会出展企業

■企業展示ブース



経編：川田ニットینگグループ、今井機業場

織物：西川産業

富山県繊維協会出展企業

■特別展示ブース



ゴールドウィン

展示会場内風景



新企画 What's Next のブース

展示会場内風景



他社ブース